学びの軌跡

～挑戦と成長～

～認めあう学年～

学年通信　第３５号
令和５年１２月２２日
発行者：春名　将之

2学期を終えて

２学期が終わりを迎えようとしています。生徒達の努力と成長をたくさん感じることのできる学期であったように感じます。

日頃の授業では、グループワークに積極的に取り組み、困っている友達がいたら、粘り強く教えてあげたり、協議したりする姿がたくさん見られました。特に数学の授業では、合同の証明という論述する内容を学習していましたが、自分の考えを正しく伝えるには、どのように表現すればよいのか。論理が通らない説明になっていないか。試行錯誤しながら文章を作り上げていく姿は、大変立派でした。その他の教科でも『どんな人に対しても一目で分かるピクトグラム作りをしたり』『弁論を書いたり』『行きたい国を英作文したり』『天気図から天気を予想して発表したり』と、論理的に伝える力を高めました。これからの社会は、変化が激しく情報が爆発的に増加し、より複雑な問題に直面すると言われています。そんな社会で生き残るには、

【自分の意見や考えを明確に伝えることが必要不可欠】

と言われています。日々の授業で更にこれらの力を高めていきたいですね。

１１月にはホームレス問題を取り組んでいるＮＰＯ法人「岡山きずな」の方を招いてホームレス問題について考えました。今まで生きてきた中で、関わることがなかったホームレスの方について理解を深め、共感的にこの問題について考える生徒がたくさんいました。学習を終えた生徒からは「人との関わりが大切」「困っているときに困ったと言える力が大切」「誰に対しても平等に接することが大切」「正しい情報を知ることが大切」など、この学習から改めて人権を守る上で大切なことを整理できました。

何人かの生徒から、実際に夜回りに行ってみたい。炊き出しに参加してみたい。という声を聞いています。ボランティアに参加するには、保護者同伴が必須条件になります。保護者の方もご一緒にボランティアに参加してみませんか。参加希望がありましたら、春名までご連絡ください。岡山きずなさんと調整したいと思います。